

“明治大学理工学部数学科+数学教育学会 SG” ジョイントプロジェクト

明治大学夏期特別数理教育セミナー

日時：2014年8月22日(金曜日)

場所：明治大学中野キャンパス 413 教室

事務局：明治大学長岡研究室

連絡先：secretariat@flexcool.net

1 プログラム(講演と議論)

1. 10:00-10:30 —自己紹介—
2. 10:30-11:00 『数学史を数学教育に取り入れることの限界(仮)』 新妻翔(明治大学 M2)
3. 11:00-11:30 『「普通」の高等学校の数学教育についての提案』 橋本和生(明治大学 M1)
4. 11:30-12:00 『新米教員が考える KnK の必要性(仮)』
谷田部篤雄(茨城中学・高等学校教諭)
5. 12:00-13:00 —昼食—
6. 13:00-13:30 『数学教育原論』 長岡亮介(明治大学理工学部)
7. 13:30-14:00 『日本語で数学するということ：翻訳をめぐる諸問題』 海老原勇(筑摩書房)
8. 14:00-14:30 『《ファールと数学》への助走として』 亀井哲治郎(亀書房)
9. 14:30-15:00 『数学教育—教師と学生の断絶?』 砂田利一(明治大学総合数理学部)
10. 15:00-15:15 —休憩—
11. 15:15-15:45 『インストラクショナルデザインと数学教育』
麻生和彦(東京大学大学院数理科学研究科)
12. 15:45-16:15 『30分でわかる検定教科書』 林昭宏(東京書籍)
13. 16:15-16:45 『現代数学教育再構築への道～Felix Kleinを仰ぎ見る～』
松並奏史(明治大学 M1)
14. 16:45-17:00 —次回の予定—
15. 17:00 → ∞ 懇親会

2 事務連絡

2.1 次回(第14回)のセミナーについて

1. 開催日 : 10月12日(日)
2. 時間 : 10:00-17:00
3. 場所 : 明治大学アカデミーコモン 9F309E 教室

2.2 講演者について

1. 申請 : 基本的にセミナー開催日に次回のセミナーの講演を募る(もちろんそれ以降に関しても随時募集しています。その際は、事務局にメールを下さい。希望者が少ない場合は、こちらから講演の依頼をさせて頂く場合もあります。)
2. タイトル : 10月6日までに事務局に提出(仮)
3. 原稿 : 10月9日までに事務局に提出(仮)